

新型コロナウイルス感染症の発生について（第2報）

令和3年7月25日、当院職員より新型コロナウイルス感染症の陽性者が5名発生いたしました。

内訳は医師1名、看護師（救急外来）3名、診療放射線技師1名の計5名となっています。

本件は直ちに札幌市保健所に報告するとともに、感染の範囲を特定するために当該職員と接触があった患者様及び関係職員全員にPCR検査を実施した結果、現在までのところ新たな陽性者は発生しておりません。

今後数日間の経過を追いながら追加検査を行ってまいります。

結果につきましては、分かり次第、当院ホームページや院内の掲示などで順次ご報告いたします。

なお、この度の集団発生は職員同士での会食に伴うもので、5名ともワクチンを接種している職員でした。これを受けまして、ワクチン接種を過信することなく、更なる感染対策の重要性と医療人としての自覚を持った行動について、全職員に対して周知徹底を行っております。

更なる感染拡大を防ぐため、引続き感染対策を徹底すると共に、当面の間、次のとおり診療内容を縮小いたします。

○救急外来（救急車、救急受診）の受入れ停止

○入院患者の新規受入れの制限

○紹介外来患者の新規受入れの制限

また、現在入院中の患者様につきましては、感染対策に留意しながら入院診療を継続いたします。

患者様はじめ関係の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年7月28日

医療法人 徳洲会
札幌東徳洲会病院
院長 太田 智之